

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
子育て支援イベント事業		西区 子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
<p>・西区内の公園や体育館に出向き、子育て家庭向けイベントを実施することにより、普段、区役所で行われるイベントや校区子育てサロンに参加していない子育て家庭に対して、堺市の子育て支援情報をPRし、子育てサロンや子育てひろばの案内など子育て支援サービスの利用を促進して、親子同士の交流を図り育児の孤立化の予防につなげる。また、屋外ならでの遊びを提供し、戸外遊びの楽しさ・重要性を伝える。</p> <p>・子育て家庭が子育て支援の利用に関する情報を獲得し、子育て支援サービスの利用を促進する。</p>	<p>・堺市の子育て支援情報紙を配布、配架</p> <p>・保育士・保健師による子育て相談(随時)</p> <p>・絵本の読み聞かせ、紙芝居、パラバルーン、親子で遊べる手遊び</p> <p>・公園や体育館で大勢の子どもたち同士でできる遊具を使った遊び</p> <p>・子育て支援コーディネーターによる保育所申請に向けた園の選び方や講師を招いてのお金に関する講座を実施。</p> <p>・子育て世代に向けた講座イベントの開催</p> <p>今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年よりも少ない人数でのイベントを実施。</p> <p>・子育て支援コーディネーターによる保育所等への入所に向けた講座をYouTubeにて配信。</p>	<p>イベント・講座参加人数</p>	15名	87名	304名
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<p>◎ 親子で楽しめる催しに参加し子育て疲れを解消したり、親子同士の交流により子育てに関する悩みを共有し、保育士、保健師から具体的な助言ができた。堺市の子育て支援の情報を幅広い人たちに知ってもらい、育児の孤立化予防に効果があり、必要性は高い。</p>	<p>◎ 西区内の公園2か所と体育館を複数活用した。子育て講座及びイベントは区が主体となり準備等を行ったが、当日は参加者が自発的に参加者同士の交流を図ったり悩みの共有等を行うことができた。</p>	<p>◎ 保育所等への入所に向けた講座の動画をYouTubeで配信したことで、これまで対面式やオンライン型であっても人数制限を設けていたものが、希望者全員に期間内にいつでも視聴してもらうことができた。</p>	<p>○ オンラインでの講座は参加へのハードルが依然として高く、多数の参加を見込むことが難しい。今後誰でもスムーズに参加できるような工夫が必要である。一方でYouTube配信は視聴希望者が多く見込めるため、今後、できるだけ多くの希望者に子育て支援情報を発信できる方法を検討する。</p>		
⑤自立発展性	総合評価				
<p>○ イベント事業のうち、体育館でのイベントにおいては子育てアドバイザー等、地域の支援者にも参加していただき、市民協働に発展させることができた。</p>	<p>○ 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年よりも人数が少なくなったものの、予定していたイベントを全て開催することができた。特に10月には「認定こども園・保育所等の入所に向けて」というテーマで動画を作成し、約1ヶ月間受講希望者がいつでも視聴できる環境を作り、より多くの希望者に情報を伝えることができた。対面式でのイベントは参加者からのアンケートの結果、満足度は100%であり、対面で他者との交流を図りたいとのニーズがあることが分かった。今後は多数の希望者に情報を伝える方法を検討すると同時に子育て家庭同士が交流をもてる機会を積極的に作り、子育てアドバイザーの参加を増やし、事業の自立発展性を高めていく必要があると考える。</p>				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、昨年度と同様の制限はあったが、対面での事業を展開し実際にふれあいながら、遊びの楽しさや重要性、また子育て支援の利用に関する情報を提供し、具体的な悩みを共有し、助言を行うことができた。しかし一方で講座やイベントには参加できなくても、いつでも都合の良い時に講座を受けたり情報を得られる環境や、乳幼児等のいる家庭で、そもそも外出自体ができない場合、対面式よりオンライン型の講座等の実施が求められていることが分かった。しかしオンライン式ではアプリの取得や動作環境等の問題もあり、参加へのハードルが上がり、利用につながらない事実もある。オンライン型は、職員の準備時間等が減る、参加人数を増やすことができる点でメリットがあるため、より市民にとって利用しやすいオンラインを利用した講座への参加方法を検討し、引き続き対面型に加えて事業展開していきたい。</p>				